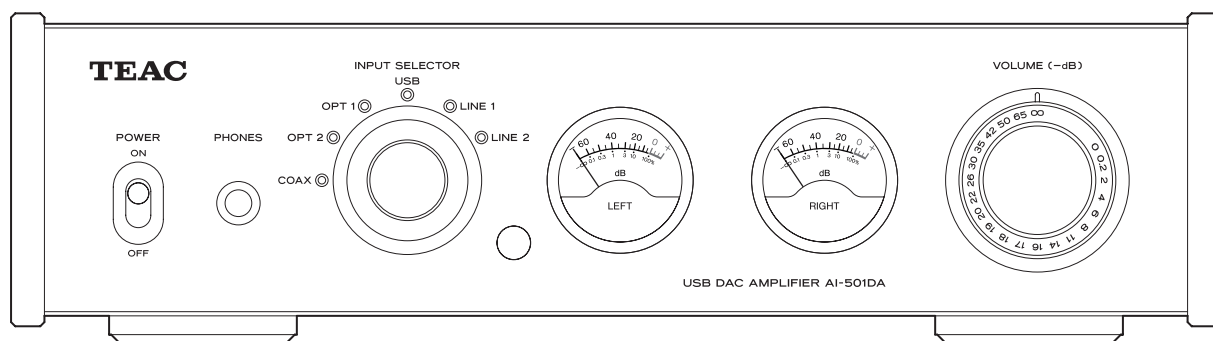
TEAC

AI-501DA

USB DAC 内蔵ステレオアンプ

取扱説明書

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に
保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

D01180000A

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
 電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。
	電源コードを傷つけない **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)に交換をご依頼ください。
	付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
 禁止	**交流100ボルト以外の電圧で使用しない** この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(3cm以上)離して置く **ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
 指示	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的(年1回くらい)に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

警告　以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

注意　以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す** コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入は、漏電や感電の原因となることがあります。
指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のケーブルを使用する**
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
	この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障・火災・感電の原因となります。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

注意　乾電池に関する注意

禁止

乾電池は絶対に充電しない

破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

注意　電池に関する注意

電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕ とマイナス⊖ の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる

間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

強制

長時間使用しないときは電池を取り出しておく

液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

禁止

指定以外の電池は使用しない

新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない

破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない

ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。

分解禁止

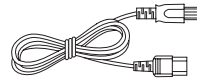
分解しない

電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

目次

付属品

万一付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店、または弊社 AV お客様相談室 (裏表紙に記載) にご連絡ください。

電源コード × 1

電源コード変換コネクタ（3P-2P）×1

リモコン（RC-1305）×1

リモコン用乾電池（単４）×2

取扱説明書 (本書) × 1

保証書 × 1

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

お使いになる前に

⚠ 設置の注意

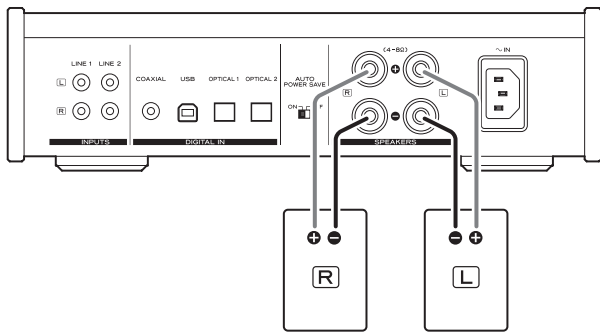
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

- PD-501HR 等他の 501 シリーズとの重ね置きは問題ありません。但し、発熱により保護回路が動作し、突然音が出なくなった場合は、放熱をよくするために本機を上段に置くか、壁や他の機器との間を少し離して置いてください。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

スピーカーの接続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

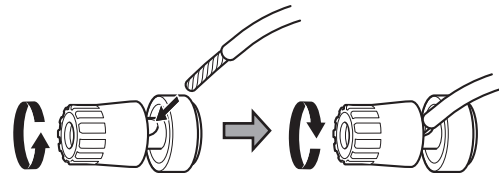
ご注意

- 本機は公称インピーダンスが4Ωから8Ωのスピーカーに対応しています。4Ωより低いスピーカーを使用すると、保護回路が働いて音が出なくなったり、場合によっては本機やスピーカーが故障する恐れがあります。
- 本機の赤い端子が+、黒い端子が−になります。スピーカーケーブルのマークされている側を本機の+端子に、もう片方のケーブルを−端子に接続してください。
- スピーカーケーブルの先端の芯線が露出している部分が、他のケーブルや端子に接触するとショートすることがあります。
- スピーカーケーブルは絶対にショートさせないでください。
- 雑音を防ぐため、スピーカーケーブルは電源コードなどその他のケーブルと一緒に束ねないでください。

接続のしかた

1 スピーカーケーブルの被覆を約1㎝むき、芯線をよくねじる。

2 接続端子のつまみを左に回して緩める。

3 芯線を端子ネジにある穴に挿入し、つまみを右に回してしっかり締め付ける。

- ケーブルの被覆が端子と接触しないように接続してください。

4 ケーブルを軽く引っ張り、しっかり挿入されているか確認する。

バナナプラグでの接続

市販のバナナプラグを使用して接続することもできます。スピーカーケーブルをバナナプラグに接続してから、プラグをターミナルに差し込みます。

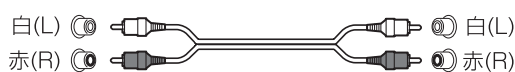
- つまみを締めた状態でご使用ください。
- ご使用になるバナナプラグの説明書をよくお読みください。

接続

DIGITAL OUT
(COAXIAL)
同軸デジタル出力
DIGITAL OUT
(OPTICAL)
光デジタル出力
デジタル音声
出力機器
RCA同軸デジタルケーブル
デジタル音声
出力機器
光デジタルケーブル
A
B
LINE 1
LINE 2
L
R
INPUTS
COAXIAL
USB
OPTICAL 1
OPTICAL 2
DIGITAL IN
AUTO
POWER SAVE
ON
OFF
(4-8Ω)
SPEAKERS
～IN
C
D
E
RCAオーディオケーブル
USBケーブル
接続する前に専用ドライバーをパソコンにインストールしてください。(14ページ)
付属の電源コード
必要に応じて付属の電源コード変換コネクタ(3P-2P)を使用してください。
パソコン
電源コンセント
L
R
音声出力
(LINE OUTなど)
カセットデッキ、
CDプレーヤーなど

A アナログ音声入力端子 (LINE 1)、(LINE 2)

ステレオのアナログ音声を入力します。この端子にカセットデッキや CD プレーヤーなどの音声出力機器の音声出力端子を接続してください。

接続には市販の RCA オーディオケーブルをお使いください。
本機の R 端子と音声出力機器の R 端子、本機の L 端子と音声出力機器の L 端子をそれぞれ接続してください。

B デジタル音声入力端子 (COAXIAL)、(OPTICAL1)、(OPTICAL2)

デジタル音声を入力します。デジタル音声出力機器のデジタル音声出力端子と接続してください。

COAXIAL ：RCA 同軸デジタルケーブル
OPTICAL ：光デジタルケーブル (TOS)

C USB 入力端子 (USB)

パソコンのデジタル音声を入力します。パソコンの USB 端子と接続してください。
接続には市販の USB ケーブル (TYPE B) をお使いください。

注意

必ず専用ドライバーをパソコンにインストールしてから接続してください。ドライバがインストールされていないパソコンを接続すると、パソコンによっては動作が遅くなるなど、パソコンの動作に障害が発生することがあります。(14 ページ)

D オートパワーセーブスイッチ (AUTO POWER SAVE)

オートパワーセーブ機能をオン / オフします。
オンに設定した場合、音声入力のない状態で 30 分以上操作しないと、スタンバイ状態になります。

- スタンバイ状態時、本体の入力切換つまみ (INPUT SELECTOR) を回すか、リモコンのボタンを押すと、電源がオンになります。

E 電源インレット (～ IN)

付属の電源コードを差し込んでください。
全ての接続が終わったら、電源プラグを AC100V の電源コンセントに差し込んでください。

⚠ 付属の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

⚠ 全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるため、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。
- 各プラグはしっかりと差し込んでください。

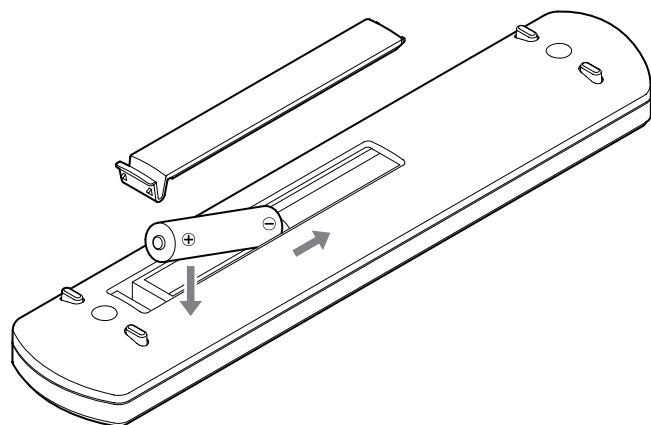
リモコンの使い方

使用上の注意

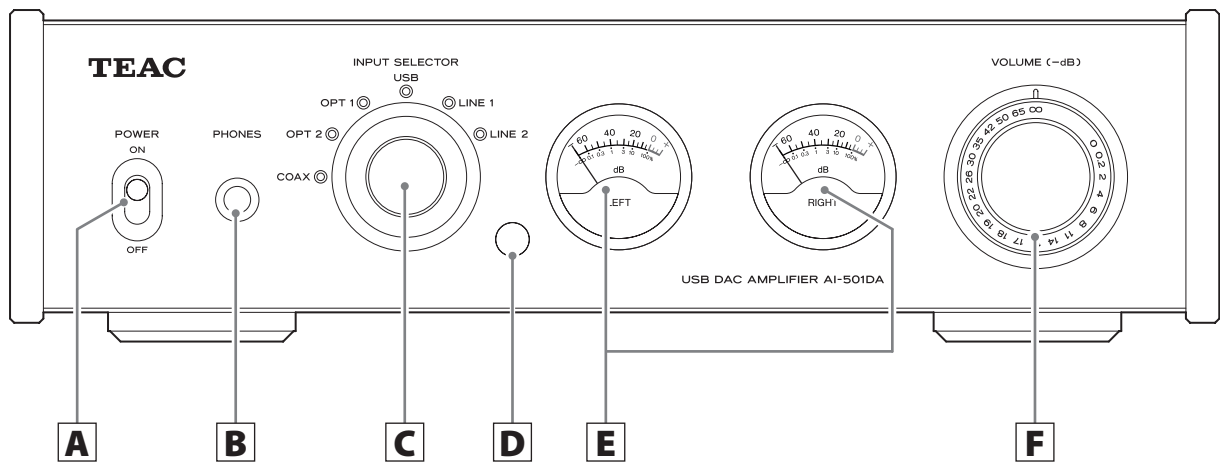
⚠ **乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。4ページの注意をよく読んでお使いください。**

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5 メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明があたると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの＋と－の表示に合わせて乾電池 (単４形)2 本を入れて、フタを閉めてください。

電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、２本とも新しい電池に交換してください。使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

各部の名前とはたらき (本体)

A 電源スイッチ (POWER)

電源をオン / オフします。

B ヘッドホン端子 (PHONES)

ヘッドホンプラグ (6.3mm ステレオ標準プラグ) を接続します。

C 入力切換つまみ (INPUT SELECTOR)

入力ソースを切り換えます。選択されているソースのインジケーターが点灯します。

D リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をリモコン受光部に向けて操作してください。

E レベルメータ

出力レベルを表示します。

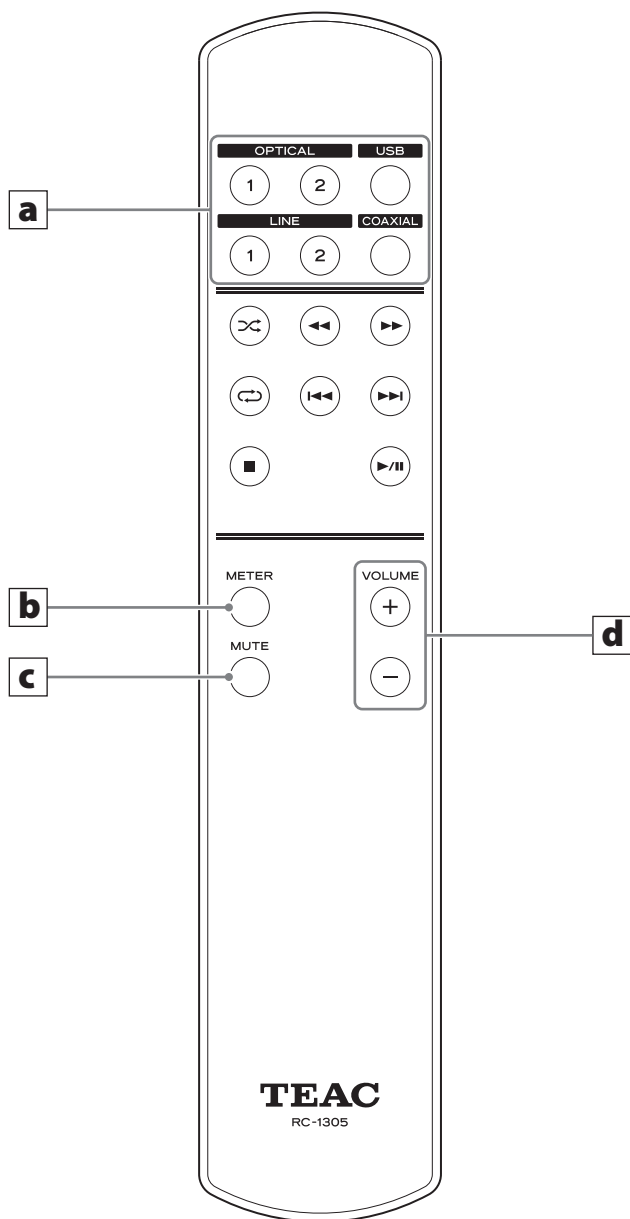
F 音量つまみ (VOLUME)

音量を調節します。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

音量は、0 が最大、−∞（マイナス無限大）が最小です。電源を入れる前に音量つまみ [VOLUME] を最小 (−∞) にしてください。突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。

各部の名前とはたらき（リモコン）

本機に付属するリモコン (RC-1305) は AI-501DA と PD-501HR をコントロールすることができます。本取扱説明書では AI-501DA で使用するボタンを解説します。

本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

a 入力切換ボタン

再生するソースを選択します。

b メーター照度調節ボタン (METER)

メーター照度調節ボタン (METER) を押すとメーターの照度を調節できます。
このボタンを押すたびに照度が、明→中→暗→オフに切り換わります。

c 消音ボタン (MUTE)

消音ボタン（MUTE）を押すと一時的に音を消すことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

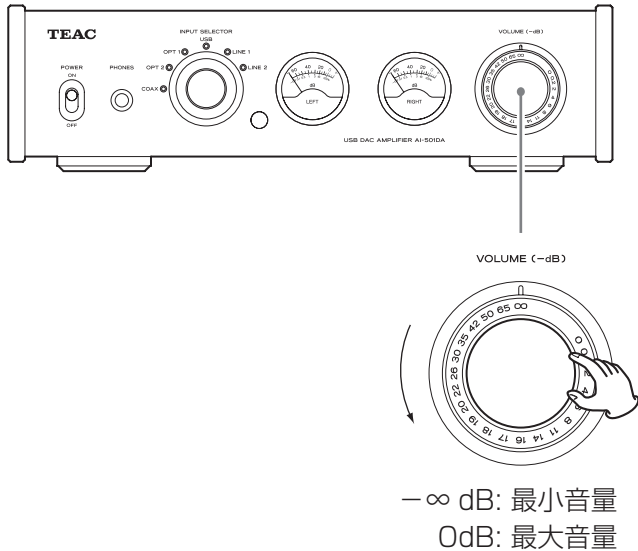
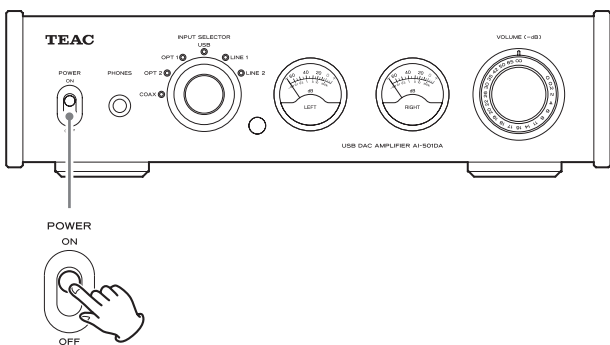
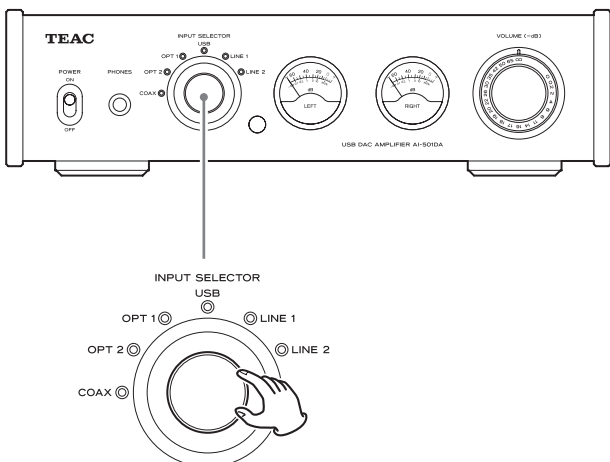
d 音量ボタン (VOLUME +, −)

音量を調節します。

基本操作

1 音量を最小にする。

音量つまみ (VOLUME) またはリモコンの音量ボタン (VOLUME) を操作して、音量を最小にして下さい。

−∞ dB: 最小音量
0dB: 最大音量

2 電源スイッチ (POWER) をオンにする。

3 入力切換つまみ (INPUT SELECTOR) を回して、入力ソースを選ぶ。

選択したソースの入力インジケーターが点灯します。

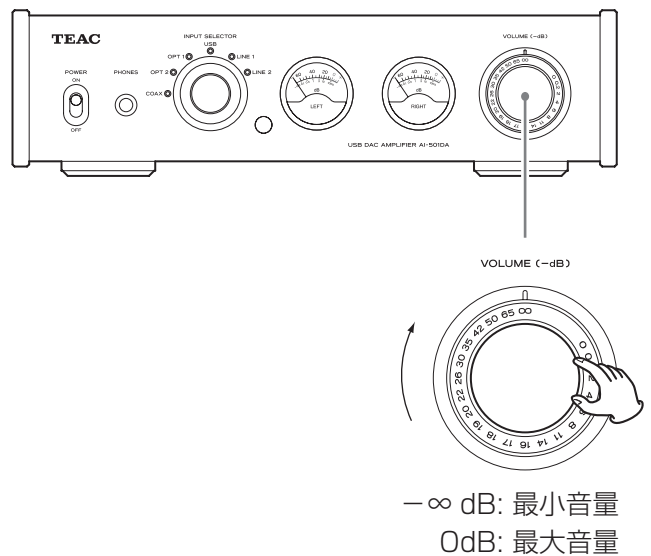
- 「OPT1」「OPT2」「COAX」に入力したデジタル音声信号が PCM フォーマット以外（例えば Dolby Digital、dts、AAC など）の場合は入力インジケーターが点滅します。本機のデジタル入力は PCM フォーマットのみ対応していますので、接続機器のデジタル音声信号が PCM フォーマットであることを確認してください。一部の機器では PCM フォーマットに変換して出力するものもありますので、詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

- 「USB」を選択する場合は、パソコンを接続する前に必ず専用ドラバーをパソコンにインストールしてください。（14 ページ）
ドライバーがインストールされていないパソコンでは再生することは出来ません。

4 再生する機器を操作する。

詳しくは各接続機器の取扱説明書をご覧ください。

5 音量を調節する

−∞ dB: 最小音量
0dB: 最大音量

ソースを再生し、音量つまみ（VOLUME）またはリモコンの音量ボタン（VOLUME）を操作して、適切な音量に調節してください。

パソコンの音楽を再生する

専用ドライバーをパソコンにインストールする

本機でパソコンに記録されている音楽ファイルの再生を行うには、まず以下の弊社ダウンロードページより専用ドライバーをダウンロードして、パソコンにインストールする必要があります。

＜専用ドライバーソフトダウンロードページアドレス＞
http://www.teac.co.jp/audio/software_teac.html

USB 接続できるパソコンの OS は

Windows XP (32-bit)
Windows Vista
Windows 7
Mac OS X 10.6 (Snow Leopard)
(OS X 10.6.4 以降)
Mac OS X10.7（Lion)
Mac OS X10.8（Mountain Lion)

のいずれかとなります。これ以外の OS での動作保証はいたしません。（2012 年 10 月現在）

ご注意

パソコンとの USB 接続の前に専用ドライバーソフトをインストールしてください。

ドライバーインストール前にパソコンと本機を接続した場合、正しく動作させせることができません。また OS に Windows XP をお使いの場合には、パソコンの動作が著しく遅くなってしまい、パソコンの再起動が必要となる場合があります。

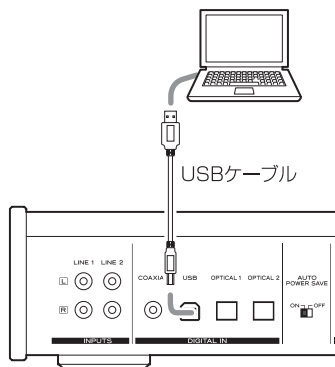
- 専用ドライバーのインストール手順の詳細については弊社ダウンロードページをご覧ください。
- パソコンのハードウェア、ソフトウェアの構成によっては、上記の OS を使用していても動作しない場合があります。

本機は HIGHSPEED アシンクロナスモードで接続します。
伝送可能サンプリング周波数は、32/44.1/48/88.2/96/176.4/192KHz です。

正しく接続されると、OS のオーディオの出力先として、「TEAC USB HS ASYNC AUDIO」が選択可能になります。

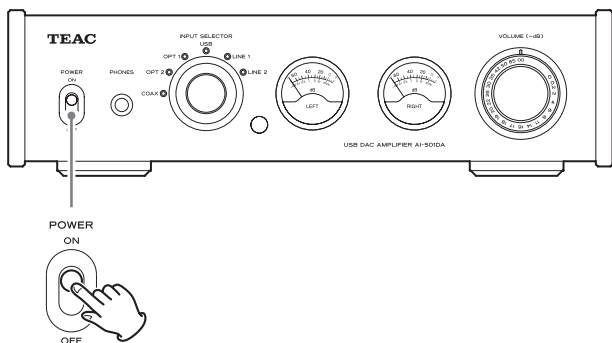
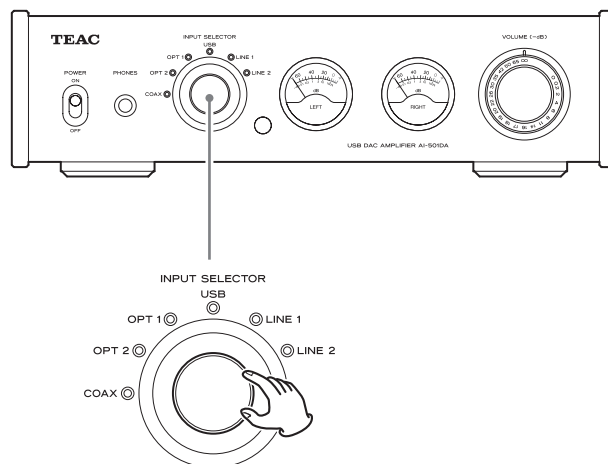
- アシンクロナスモードでは、パソコンから送出されたオーディオデータを本機側のクロックを使って処理しますので、データ伝送時のジッターを抑制することができます。

パソコン内の音楽ファイルを再生する

1 USB ケーブルでパソコンと本機を接続する。

- ケーブルは本機の接続端子に合うものをご使用ください。

2 パソコンの電源をオンにする。

- OS が正常に起動できたことを確認してください。

3 本機の電源スイッチ (POWER) をオンにする

4 入力切換つまみ (INPUT SELECTOR) を回して、「USB」を選ぶ。

5 パソコンで音楽ファイルの再生を開始する。

パソコン側の音量調整は最大に設定して、本機の音量つまみ (VOLUME) で音量を調整するとより良い音質が得られます。
本機の音量は再生開始時には最小にし、徐々に大きくして調整してください。

- パソコンから本機をコントロールしたり、本機からパソコンをコントロールすることはできません。

- USB 接続で音楽ファイルを再生しているときに、以下の操作を行わないでください。パソコンの誤動作の原因となります。これらの操作は必ず音楽再生ソフトを終了してから行ってください。
  - ・USB ケーブルを抜く
  - ・本機の電源をオフにする
  - ・本機の入力を切り換える

- 音楽再生ソフトを起動した後で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に設定した場合は、音楽ファイルが正しく再生できないことがあります。この場合は、音楽再生ソフトを再起動するか、パソコンを再起動してください。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご連絡ください。

一般

電源が入らない

➡電源コードがきちんと電源に接続されているか、差し込みが不完全ではないかを確認してください。コンセントがスイッチ式の場合、オンになっているか確認してください。

➡コンセントに他の電気機器を接続して、電気が供給されているかを確かめてください。

音が出ない

➡音量つまみ（VOLUME）で音量を調節してください。右側に回すと音量が上がります。（11ページ）

➡入力切換つまみ（INPUT SELECTOR）で聴きたいソースを選んでください。（13 ページ）

➡外部機器の接続をもう一度確認してください。

ブーンというノイズが聞こえる

➡接続ケーブルの近くに電源コードや蛍光灯等がある場合は、本機からできるだけ遠ざけてください。

ヘッドホンの片側からしか音が出ない

➡ヘッドホンプラグが奥まで差し込まれているかチェックしてください。

急に音が出なくなった

➡発熱により保護回路が動作したと考えられます。一旦電源スイッチをオフし、数分経ってから再度電源を入れて下さい。

レベルメータの照明が点滅して音が出ない

➡スピーカーケーブルの＋と－がショートしている可能性があります。電源を切り、スピーカーとの接続を確認してください。

オートパワーセーブにより電源がスタンバイになった

➡一旦電源スイッチをオフし再度電源を入れて下さい。

パソコンとの接続

パソコンで本機が認識されない

➡USB 接続できるパソコンの OS は下記のいずれかとなります。

Microsoft Windows
　Windows XP (32-bit)
　Windows Vista
　Windows 7

Apple Macintosh
　Mac OS X 10.6 (Snow Leopard)
　(OS X 10.6.4 以降)
　Mac OS X 10.7 (Lion)
　Mac OS X 10.8 (Mountain Lion)
　で動作します。（2012 年 10 月現在）
これ以外の OS での動作保証はいたしません。

➡専用ドライバーのインストールが必要です。(14 ページ)

雑音がする

➡音楽ファイル再生中に他のアプリケーションを起動すると、音が途切れたり、ノイズが発生する場合があります。再生中は他のアプリケーションを起動しないでください。

➡本機とパソコンを USB ハブなどを介して接続していると、雑音が出ることがあります。その場合は、本機とパソコンを直接接続してください。

音楽ファイルが再生できない

➡パソコンと本機を接続して , 本機の入力を「USB」に切り換えてから、音楽再生ソフトを起動して再生を開始してください。
音楽再生ソフトを起動した状態で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に切り換えた場合は、音楽データが正しく再生できないことがあります。

➡専用ドライバーのインストールが必要です。(14 ページ)

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。

仕 様

アンプ部

最大出力‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 68W+68W
（4Ω,20Hz ～ 20KHz,JEITA)
34W+34W
（8Ω,20Hz ～ 20KHz,JEITA)

定格出力‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 50W+50W
（4Ω,20Hz ～ 20KHz,JEITA)
25W+25W
（8Ω,20Hz ～ 20KHz,JEITA)

スピーカー適合インピーダンス‥‥‥‥‥4Ω ～ 8Ω

全高調波歪率 ‥‥‥‥ 0.05%（1kHz,4Ω,45W)

S/N比（入力ショート）
LINE IN ‥‥‥‥ 100dB（IHF-A/入力ショート)

周波数特性 ‥‥‥‥‥‥‥ 10Hz～60kHz(-3dB)

ヘッドホン出力

コネクタ‥‥‥‥‥‥ 6.3mmステレオ標準ジャック

最大出力レベル‥‥‥‥‥‥‥50mW+50mW以上
(32Ω、THD+N 0.1%）

デジタル音声入力

同軸デジタル（COAXIAL）‥‥‥RCA端子× 1系統
（0.5Vp-p/75Ω)

光デジタル（OPTICAL)
角型光デジタル端子× 2系統
(－24.0 ～ －14.5dBmpeak)

USB‥‥‥‥‥‥‥‥ USB Type B 端子× 1系統
(USB2.0準拠)

入力サンプリング周波数
COAXIAL/USB
32、44.1、48、88.2、96、176.4、192kHz
OPTICAL‥‥‥32、44.1、48、88.2、96kHz

量子化ビット数‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 16、24bit

アナログ音声入力

コネクタ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥RCA端子× 2系統

規定入力レベル‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ －10dBV

最大入力レベル‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥+6dBV

一 般

電源電圧‥‥‥‥‥‥‥‥ AC 100V (50/60Hz)

消費電力‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 55W

外形寸法‥‥‥‥ 290mm x 81.2mm x 264mm
(WxHxD、突起部を含む）

重量 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 4.0kg

許容動作温度 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ +5℃～+35℃

許容動作湿度 ‥‥‥‥ 5%～85% (結露のないこと)

許容保管温度 ‥‥‥‥‥‥‥‥ －20℃～+55℃

付属品

電源コード x 1

電源コード変換コネクタ（3P-2P）×1

リモコン（RC-1305）×1

リモコン用乾電池（単４）×2

取扱説明書 (本書) × 1

保証書 × 1

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

■保証書
この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間
当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は
修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは
16 ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は
修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み
技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代： 修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

その他： 製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容
型名：USB DAC内臓ステレオアンプ
AI-501DA

シリアルナンバー：

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは
本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止
この機器は絶対に分解・改造しないでください。

この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

5 年に 1 度は、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) に内部の点検をご依頼ください。費用についてはお問い合わせください。

ティアック株式会社

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　http://www.teac.co.jp

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858
電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

0912.MA-1831A